

2013年7月17日

報道各位

ジョーンズ ラング ラサール株式会社

## [速報]

日本の2013年上半期の不動産投資額50%増\*1（円建てで85%増）

2012年の通年投資総額を上半期で突破

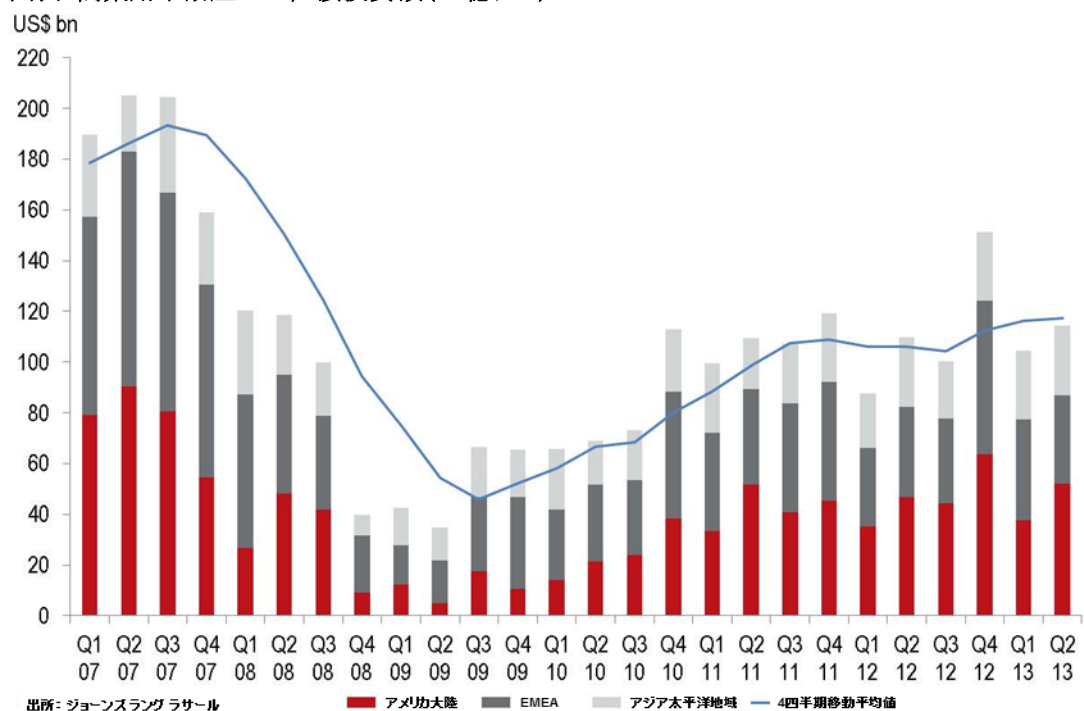
世界の総投資額も5四半期連続で1,000億ドル超え

総合不動産サービス大手のジョーンズ ラング ラサール(本社イリノイ州シカゴ、社長兼最高経営責任者コリン・ダイアー、NYSE JLL)がまとめた投資分析レポート(2013年第2四半期)によると、2013年第2四半期の世界の不動産投資額は1,140億ドル(前年同期比4%増)となりました。2013年上半期としては前年同期比11%増加となりました。日本の2013年上半期投資額も前年同期比50%増の209億ドル、円建てでは85%増の約2兆円に達し、2012年通年の投資総額を突破しました。また2013年通年の世界の不動産投資総額は、引続き4,500億ドルから5,000億ドルに達する見通しとしています。

確報及び全体の調査結果をまとめたレポートは、7月末に発行する予定です。レポートのハイライトは以下のとおりです。

- 日本の2013年上半期投資総額は前年同期比50%増の209億ドル。円建てでは前年同期比85%増の約2兆円となっており、2012年通年の投資総額を2013年上半期で突破。他主要市場と比較しても日本の投資総額増加は顕著（オーストラリア：10%増、イギリス：4%増、ドイツ：43%増、フランス：6%増、中国：20%減）。
- 2013年第2四半期の世界の不動産投資額は前年同期比4%増の1,140億ドル。世界的に不動産投資に対する信頼が回復し、投資総額は5四半期連続で1,000億ドル超え。
- 2013年第2四半期のアメリカ大陸の投資額は前年同期比11%増の520億ドル、上半期投資総額は前年同期比9%増の900億ドルとなった。一方、アジア太平洋地域は上半期総額では11%増となったが前年同期比では横ばいの水準、EMEAにおいては上半期総額は12%増加となったが、前年同期比横ばいとなった。
- 世界的に活発化する不動産投資活動、また例年上半期に比べ投資活動が活発化する下半期を背景に、2013年の取引総額は引続き4,500億ドルから5,000億ドルに達する見通し。(2012年通年実績4,430億ドル)

図表: 商業用不動産への直接投資額(10億ドル)



※1: これらの数値は速報値に基づいており、今後変更になる場合があります。

補足: 通貨単位は、別途記載がない限りすべて米ドル。

この件に関する問い合わせ先:

広報担当(エイレックス) 吉岡・石山 電話:03-3560-1289

#### ジョーンズラングラサールについて

ジョーンズラングラサール(ニューヨーク証券取引所上場:JLL)は、不動産に特化したプロフェッショナルサービス会社です。世界中に存在する専門家チームが、不動産オーナー、テナント、投資家に対し、総合的なサービスを提供しています。2012年度のグループ売上高は約39億ドルにのぼり、全世界70カ国、1,000都市超の顧客に対しサービスを提供しています。当社はプロパティマネジメントサービスならびに企業向けファシリティマネジメントサービスのリーディングカンパニーとして、約2億4,200万㎡(約7,300万坪)の不動産を管理しています。また、2012年の取引額は63億ドルに達しました。ジョーンズラングラサールグループで不動産投資・運用を担当するラサールインベストメントマネジメントは総額477億ドルの資産を運用しています。

ジョーンズラングラサールのアジア・パシフィック地域での活動は50年超にわたり、現在14カ国、78事業所で25,400名超のスタッフを擁しています。弊社は、2013年インターナショナルプロパティアワードアジア・パシフィックで「最優秀不動産コンサルタント賞(5つ星賞)」を3カ国で、また「Highly Commended(称賛に値する企業)賞」を8カ国で受賞。また、2012年ユーロマネー・リアルエステート・アワードにおいてアジア太平洋地域の最優秀不動産アドバイザリー部門賞を受賞しました。詳細な情報はホームページをご覧ください。www.joneslanglasalle.co.jp